

JGS 関東 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会
第 16 回 議事録

■日 時：2021 年 5 月 13 日（月）14:00～17:00

■場 所：Web 会議（Zoom）

■出席者：桑原（パイルフォーラム）、青木（竹中）、加倉井（パイルフォーラム）、阿部（東京ソイル）、柏（国総研）、片山（東邦地下工機）、小坂井（MFR）、西（安藤ハザマ）、三反畑（安藤ハザマ）、古垣内（東急）、張（東急）、嶋田（大林）、森（熊谷）、福田（戸田）、長澤（清水）、栗本（清水）、原（西松）、伊藤（東亜）、小林（大成）、高岡（三井住友）、梶野（長谷工）、土屋（竹中）、宮本（東洋テクノ）、木谷（三谷セキサン）、田中（大洋基礎）、小川（旭化成）、細田（ジャパンパイル）、高田（山下）（不動テトラ）、有山（丸建興業）、野坂（八州建機）、媚山（新潟商事）、根岸（地盤試験所）、飯島（土木研究所）

欠席：_____、記録：土屋

■配布資料

16-0_既存杭撤去第 16 回議事次第 210427. docx
16-1_第 15 回既存杭の撤去に関する研究委員会_議事録（案）_210328. docx
16-2-1_既存杭_目次_210426. docx
16-2-2_既存杭_第 1 章_210319. docx
16-3-1_WG1_ガイドライン 3 章_20210513. docx
16-3-2_WG1_ガイドライン 7 章 7. 1_20210513. docx
16-4-1_WG2 ガイドライン・2 章既存杭の調査（2. 1～2. 4）_20210513. docx
16-4-2_WG2 ガイドライン・4 章撤去後の埋戻し方法の選定（4. 1～4. 2）_20210513. docx
16-4-3_WG2 ガイドライン・2 章用語. txt
16-4-4_WG2 ガイドライン・4 章用語. docx
16-4-5_WG2 ガイドライン・7 章_20210512. docx
16-5-1_第 16 回（20210426）WG3 議事録（案）記録者：原. doc
16-5-2_WG3 ガイドライン目次・担当. docx
16-5-3_WG3 ガイドライン 5. 1 案_210512. docx
16-5-4_WG3 ガイドライン 5. 2 修正案_木谷. docx
16-5-5_WG3 ガイドライン 5. 3 案_20210513（宮本）. docx
16-5-7_WG3 ガイドライン 6 章_新設杭の設計の考え方（案）. docx
16-6_付録 1_アンケート結果_210426. docx

■議事

1. 前回議事録の確認等（資料 16-1）【原委員】

議事内容は承認された。

- ・1. 3 にある用語の定義の項目抽出がないようなので、出すように。

2. 地盤工学会誌の一般記事の相談【栗本委員】

地盤工学会の委員である栗本委員より、委員会の取組を一般記事にできないか相談があった。

- ・一般記事では紙面も限られており、特集が良いのではないかと。

- ・出版物を広めるのであれば、講習会の紹介を含め、基礎工の特集号（90 p 程度）でも良いのではないかと。
- ・講座はいろいろ制限があり、自由度がないので避けたほうが良い。
- ・一般記事ではなく、来年出版予定の内容をアナウンスする紹介程度とする。

3. 目次について（資料 16-2-1）【青木幹事】

2 章を新設した。そのため、以後の章を 1 章ずつずらした。5 章（旧 4 章）の構成について、5.2 を削除して、以後繰り上げた。

- ・4 章の構成について、4.1 は少なく、4.2 がほとんど大半を占めている。偏っているように見えるので、4 章の構成を見直すなど検討してもらいたい。

4. 2 章について（資料 16-4-1）【古垣内委員】

基礎の計画・調査フローを追加した。

- ・フローについて、最初の◇に説明があるが、「既存杭の対応条件が想定できるか」の意味が良く分からない。案として「既存杭の影響が想定できるか」などとイメージしやすいように修正したい。

5. 3 章について（資料 16-3-1）【三反畑委員】

前回の指摘事項を修正した。

- ・選定の評価表の A、B 案について、5 段階評価の B では細かすぎる。A の 3 段階の案で良いのではないかと。
- ・出来ばえの評価に、間違っていると思われる部分がある。WG で検討されたい。
- ・撤去工法の評価はできないか。例えば、取り残しがあるとトラブルになる。取り残しが起きうる工法であることを明示できないか。章のはじめで記述してもらいたい。
- ・流動化処理土を上から入れると、埋め土の強度にばらつきが生じ、トラブルになりやすい。下から入れる方法と同一の評価になっている部分が見られる。問題があるので適切に評価してもらいたい。
- ・表中の「引抜き時」は「掘削および引抜き時」などとする。「所作」は「注入攪拌方法」などとする。
- ・チャッキング工法がないので追加してもらおう。
- ・評価表については、一部修正を含め、出来ばえ評価を WG で議論してもらおう。

6. 4 章について（資料 16-4-2）【古垣内委員】

内容については、変更がない。

- ・構成については、4.1 が少なく、4.2 が大半で、確かにバランスが悪い。WG で検討する。
- ・p 31 の工法名について、工法名と注入方法がセットになって限定されている。その次の説明では細部の注入方法だけで章立てがなされている。そのため、何の工法の説明箇所だったかが分かりにくくなっている。縁切りか破碎工法程度で説明したほうが分かりやすいか。

7. 5、6 章について（資料 16-5-1～7）【宮本委員】

WG3 の議事録の内容、修正目次内容を説明した。5.2 は削除、5.2、3 は章番号のみ修正。5.4

は WG 内での議論を受け修正中。

8. 7 章について（資料 16-3-2、16-4-5）【宮本委員】

- ・ 7.2 の埋戻しの記録の書き方と 7.1 の引抜撤去の記録の書き方が異なっている。7.1 については、7.2 に合わせ、文章を追加してもらう。また、7.2 を含めて、全体の構成案についても三反畑委員に検討してもらう。

9. 付録について（資料 16-3-2、16-4-5）【宮本委員】

- ・ アンケートについては、各章で参照してもらうよう、修正してもらいたい。
- ・ WG2 で検討したケース毎の A3 の表については、有用なのでどこかに入れたい。一部許可が取れていないものがあるようだが、一部でも入れておきたい。付録で良いのではないか。
- ・ アンケートを付録 1 とし、ケース毎の検討例を付録 2 とする。

10. 用語について（資料 16-4-3～5）【古垣内委員】

- ・ 用語のリストが出されていないようなので、各 WG 主査はリストを出してもらう。締め切りは 6/25、提出先は青木幹事をお願いします。
- ・ 攪拌か攪拌かなどどうするかであるが、用語辞典にあれば、それに合わせる。解説も参照する。

11. 今後の予定

- ・ 次 回：2021 年 7 月 8 日（木）14:00～17:00（Web 会議）：完成原稿提出、査読開始予定
- ・ 次々回：2021 年 8 月 26 日（木）14:00～17:00（Web 会議）：

以上